



カテゴリ: サステナビリティ

2024年12月24日
第24105号

「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に 3年連続で選定

JALは、このたびESG(環境・社会・ガバナンス)投資の代表的指数である「Dow Jones Sustainability Index (以下「DJSI」)」のアジア・太平洋地域の企業で構成される「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に選定されました。JALが選定されるのは今回で3年連続となります。

DJSIは、世界の大手企業13,000社以上を対象に、ガバナンス/経済・環境・社会の3つの側面から企業活動を総合的に分析・評価し、持続可能性に優れた企業を選定するもので、企業の社会的責任や持続可能性を重視する投資家にとって重要なESG指数です。



[松山空港に導入したeGPU\(*\)](#)
(*)リチウムイオンバッテリー式電源装置



100%植物由来のエコミークラスの
[リユース食器\(写真上3点\)](#)



JALラウンジで提供している
紙製の歯ブラシとその包材

今回の審査においてJALは、脱炭素化に向けたマルチステークホルダーとのエンゲージメント、使い捨てプラスチック削減などの包装材管理、情報セキュリティなどの項目で航空業界の最高評価を得ました。また、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)(*1)やTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)(*2)の提言に基づく情報開示、人的資本経営、サステナブルマーケティング・ブランド評価を含む顧客関連の項目なども高く評価されました。(*3)

なお、今回3年連続で選定されたDJSI Asia Pacificに加え、ESG投資の代表的な株価指数である「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」などのさまざまな構成銘柄にも継続的に採用されています。(*4)

JALは、最上位戦略に掲げているESG戦略を今後も全社一丸となって推進し、「移動」を通じた「関係・つながり」の創造によって、持続的に社会的・経済的価値を創出することで、世界で一番お客さまに選ばれ、愛されるエアライングループを目指してまいります。

(*1) JAL企業サイト>サステナビリティ>TCFD: <https://www.jal.com/ja/sustainability/environment/climate-action/>

(*2) JAL企業サイト>サステナビリティ>TNFD: <https://www.jal.com/ja/sustainability/environment/biodiversity/>

(*3) JAL企業サイト>サステナビリティ: <https://www.jal.com/ja/sustainability/>

(*4) JAL企業サイト>会社情報>評価・受賞: <https://www.jal.com/ja/company/awards/#anc02>

以上